

神奈川県版 第331号 2015年11月15日
全日本年金者組合中央本部
〒170-0005 東京都豊島区南大塚1-60-20天翔大塚駅前ビル
TEL.03(5978)2751 FAX.03(5978)2777
発行人 富田浩康 月刊1部100円 送料70円
昭和57年6月30日第三種郵便物認可

全日本年金者組合
神奈川県本部
〒231-0032 横浜市中区不老町2-8不二ビル2F
TEL: 045-663-4061 FAX: 045-663-4062
メール: nenkinkanagawa@nifty.com
10月30日現勢 組合員 10,528人
機関紙 6,437部
100万署名 26,124部



右手に組合加入書、左手に100万署名 年金者一揆は心を熱くする



「移送」などと姑息な手段で私たちを東京に呼びつけるなんて許せない。国が横浜に来て正々堂々と争え。10月26日、佐々木公生副団長、杉沢隆宣事務局長、鈴木久夫書記長など年金裁判原告団は、法務省と厚生労働省の各大臣あてに

正々堂々と争え 法務省、厚生労働省に申入れ

「移送するな」裁判原告団

「移送」などと姑息な手段で私たちを東京に呼びつけるなんて許せない。国が横浜に来て正々堂々と争え。10月26日、佐々木公生副団長、杉沢隆宣事務局長、鈴木久夫書記長など年金裁判原告団は、法務省と厚生労働省の各大臣あてに

谷参事官から「横浜から訴状も届いていない段階で移送の話はない」との答弁がありました。19地裁で国から申入れ、4地裁で移送決める。全国19の地裁に国から高裁のある地裁への移送申入れが出ていて、徳島が高松地裁に、島根が広島、沖縄が福岡、青森が仙台の地裁に移送することを決めていきます。



年金裁判募金の目標達成あと少し、ご協力願います



「一揆の血が私たちに脈々と流れている」訴える加藤団長(右)



平塚支部



茅ヶ崎支部



戸塚支部

49支部、430人駆けつける

パレード大賞 平塚、茅ヶ崎、戸塚支部

10年目の「年金者」430人。小田原、平塚、平塚、茅ヶ崎、戸塚の支部が駆けつけた。パレード大賞は平塚、茅ヶ崎、戸塚の支部が手にしました。神奈川からは全49支部、裁判原告団長、加藤郁子が代表して年金「秋の仲間づくり月間」が始まり、49支部すべて

裁判支援で墓前祭で「訴えれば」入会広がる

12月25日までの期間で、自主目標が出そろい、県本部目標1万1千52人となりました。平塚支部では10月に10人、港南支部では6人と好調の出だし、厚木では「うたごえ喫茶」で6人、知恵を絞って500人支部に再挑戦しています。保土ヶ谷ではまず役員が率先して1人を増やす。湘南ブロックの会合では「厳しいがやるしかない」と意思統一しました。10月の墓前祭でも戸塚で2人、栄、海老名で各1人、「感銘」して入会。「年金裁判支援」での入会が目立ってきています。戸塚の木村孝造さんは「年金支援一本」で訴え4人、川崎麻生でも4人、金沢でも3人と各支部で入会しています。

マルクスは「資本論」の中で、ルイ15世の愛人ポンパドゥール夫人がノアの洪水伝説にちなんで言った言葉を引用して「大洪水よ、わが亡き後に来なれ」「これがすべての資本家およびすべての資本家国民のスローガンである」と資本主義の本質を述べた。安倍政権は高まる戦争法反対の世論に一切耳を傾けず、これまでの「アベノミクス」3本の

の矢」が失敗したことへの無反省のまま「1億総活躍社会」や「GDP 600兆円」など「新3本の矢」の経済政策を推進している。地域経済・雇用、農業、大洪水よ、わが亡き後に来なれ 医療・保険、食品安全、知的財産権など国民の生活・営業に密接にかかわる分野で、日本の国民の利益と経済主権をアメリカや多国籍企業に売り渡すTPPや

川柳最優秀賞 安倍倒す！ どんと突き出す むしろ旗 (岐阜県・和田昌三)

年金相談室 ☎ 045-663-4061
毎月第2火曜日 午後1時から4時 横浜市中区不老町 2-8 不二ビル 2F
◆あらかじめ電話をいただければ幸いです。年金者組合企画

◆憩いとレジャーの花も咲く
「湯ノ花沢温泉」
駒ヶ岳東斜面の海拔950メートルにあり、



題字 茅ヶ崎支部 藤田香代子 ▶11◀

◆文人墨客に愛された風雅の湯
「芦之湯温泉」
駒ヶ岳の麓に開けた閑静な温泉です。



箱根の秋

「きのくにや旅館」は成分の異なる五本の源泉があり、「松屋本店」には七色に変わる源泉があります。
(小田原支部 村石弘雄)

箱根一七湯の中では最も高い位置にあり、自然湧泉が豊富なのも特徴です。
明治期には日本で初めて湯の花「硫黄など温泉の沈殿物」を採取し、昭和初期には温泉の湧出状況を化学分析する「温泉化学」の草分けとしても知られています。

歴史的な面影を色濃く残している、「阿字ヶ池」は寛文二年(1662)に、勝間田清左衛門が湿原を開発して温泉の基礎を築いた跡で、「七湯枝折」では「この湯は五味(多種)で箱根の温泉の中でも主(最高)と賛辞が送られています。現在でも五味といわれている温泉を保有しています。

宝田さん
ありがとう

楽しかったわ

感動 感動 「さわやか女性のつどい」



舞台上で踊ったり、歌ったり。練習が実りました

現地 小田原 中央ブロックに拍手

12000人の女性パワー

県女性の会主催「第12回さわやか女性のつどい」が10月30日に秦野市文化会館で開催され、馬場目トミ子さんからあ

たたかい期待と励ましのお言葉をいただき、古谷義幸秦野市長から心あたたまる激励のメッセージをいただきました。記念講演での宝田明さんご自身の戦争体験と戦争はしてはいけないとの熱い思いには参加者の殆どが感動しました。

ブロックごとの出し物は一段とバージョンアップし、見ごたえのあるものでした。
秦野支部は会場のおひざ元。「大きな会場をいっばいにしなければ」との思いで女性役員はもちろ

◆女も男も奔走、秦野支部 チケット159枚販売

「さわやか」成功の原動力でした。宝田さんの話はずばらしかった。とくに「戦争法に賛成した党や議員に今度の選挙で投票しないことに賛成いただけたか？」の問いにビックリ。公の場でこの勇氣ある発

会が終わって帰っていくみなさんから口々に「ありがとう！楽しかった」の聲が発せられ、つどいの成功を実感しました。



会場までのバス乗り場。現地の誘導に感謝



バスで41人も参列した海老名支部

墓前祭・支部行事に 参列者過去最高の350人



納骨式の前



地下の納骨室

春秋年2回、通算9回目となる「秋の墓前祭」が10月23日、南葉山霊園内の「共同墓所」に過去最高の350人余の遺族、組合員がしめやかに集いました。
今回、大型バスで41人の海老名、戸塚、大井町などが墓参り三浦の魚料理を楽しむ支部行事として取り組み、海老名、戸塚、栄支部などで組合加入につながっています。

ロマンスカーで宝田さんとばったり

声・マ・ラ カ・ル・ト

感動と感動の一日
「いろいろな行事に参加しているけれど、こんなに感動・感激したのは初めて！」
(伊勢原 吉野邦子)

宝田さんの話はずばらしかった。とくに「戦争法に賛成した党や議員に今度の選挙で投票しないことに賛成いただけたか？」の問いにビックリ。公の場でこの勇氣ある発

神奈川年金者文芸

- (俳句)
- 天折の兄徳ばるる芋名月 式部の実ひと雨毎に色深かめ 平塚支部 寺田 公明
- 曼珠沙華妖しげに咲き根には毒 愛川支部 廣井 瑞枝 吊るし柿十一階に暖簾めく 港南支部 横川 あい
- 花芒に汐のひきたる田越川 愛川支部 萩田美智子 デモの波法案可決に秋の雨 秦野支部 町田美智子
- 酔芙蓉つぎつぎと咲く暮れてなほ 退葉支部 有安八重子 曇り空ささえて紅葉類を染め 秦野支部 平野雄一郎
- 皿の柿一つ掌に乗すわが光陰 退葉支部 長谷川紀美子 (川柳) 惚ばるる「戦争嫌だ」祖母の声 愛川支部 村井 庄三
- 宅配の田舎が匂う柿をむく 川崎みなみ支部 鏡 寿一 総活躍一徳玉碎出てこぬか 旭支部 毛利やすひこ

住まいるnet

年金者組合と建設職人の組合との提携事業
《対応メニュー》新築・リフォーム・屋根・塗装・内装・造園・外構・白アリ駆除・畳・設備水周り・ハウス

フリーダイヤル
0120-88-5593

〒221-0045 横浜市神奈川区神奈川2-19-3
建設プラザ4階 神奈川建設労連 045-534-9962